

## 宗内寺院紹介 92

東京教区第八部

はいとうぜん  
ふみょうじ  
だいにちどう

# 拝島山 普明寺・大日堂



- ①普明寺本堂 ②仁王門（大日堂境域）  
③金剛力士吽形像（仁王門・東京都指定文化財） ④大日堂  
⑤大日如来坐像（大日堂の本尊・東京都指定文化財）  
⑥拝島のフジ（大日堂境域・東京都指定天然記念物）

普明寺が別当を務める大日堂は、縁起によれば天曆十年（九五二）に上流から多摩川の中洲に流れ着いた大日如来の尊像を村人が参拝するようになったことから「拝島」の地名がおこり、当時の国主により一寺が建立された。更に戦国時代に北条氏の出城である滝山城を守護していた石川土佐守が娘の「おねい」の眼病平癒を大日堂に籠って祈願したところ、平癒した御礼から一門をあげて堂宇を建立し一山八坊として整備した。

普明寺はその八坊の一寺院として建立された寺院である。現本堂は、大正六年に焼失した後に昭和十六年に再建されたものである。

大日堂境内（現拝島公園）にある仁王門には、鎌倉期の胎内墨書銘を持つ金剛力士像が安置され、また大日堂内の宮殿には、藤原時代作の大日如来像・釈迦如来像と元禄時代作の阿弥陀如来像の三如来像が安置されており、正月には近隣住民の初詣参拝で賑わう。

## 東京教区第八部 拝島山 普明寺・大日堂

住 所／〒196-0002 東京都昭島市拝島町1-20-16  
電話番号／042-541-1009